

SUMMARY スクール概要

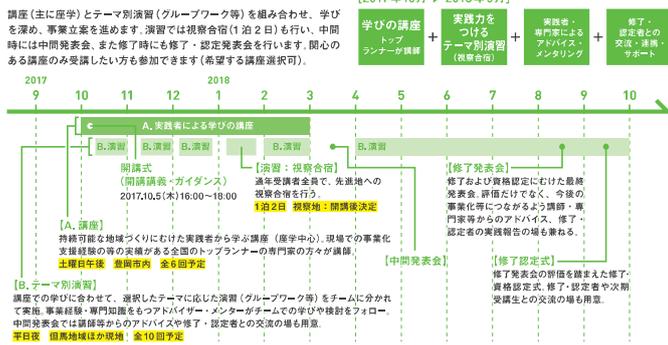
持続可能な地域づくりやエネルギー、環境・生物多様性への影響、事業化に関するスキルと情報の習得を目指す「講座」と実践的な事業立案・調査研究等を行う「演習」（先進地視察を含む）を行います。

演習・事業化テーマを応募時に選択（開講時に変更も可）し、但馬地域・丹波地域をフィールドにテーマに基づいた地域課題の分析、事業を検討します。

選択したテーマをもとに事業化の演習を行うプロセスを通じて、地域の多様な人材・資源等をコーディネートしながら、これからの地域に必要な持続可能な地域づくりを実施する「中間支援人材」に成長していくことを期待しています。



FLOW 講座・演習の流れ



資格認定と修了後の活動イメージについて

- 一定の要件をクリアした受講生は、当機構にて「サスティナビリティ・オーガナイザー（持続可能地域士）」として認定します。
- 認定以後は、具体化に向けた支援を行うとともに、取組のステップアップやネットワークを広げる交流会や情報提供、認定者同士でのサポートや連携促進等を行います。

※現在、20名の認定者が但馬地域で活躍しています。第2期は10名が受講中9月末修了予定（2017年7月末現在）。

修了・認定者の声

地域課題に熱い思いを持つ異業種の受講生と事業化立案を検討でき、新たな知識、知見を蓄むことができました。修了後もチームで視察研修を行い、普段の業務とは関係のない面から視察を応じ、エネルギー課題をおさるきっかけとなっています。

（株）キネキ商業 住環境事業部 中島 加蔵さん（26歳）

第2期受講生の声

但馬の宝探して他人事ではなく、自分の事として考えてみませんか。自分の特技や職種を生かし、但馬人のネットワークを広げ、次の世代の子供たちのために何ができかを一緒に考えましょう。

農事組合法人アイガモの谷口 代表理事 谷口 正友さん（50歳）

受講生を送り出す経営者の声

企業経営では顧客ニーズを把握し、満足して頂くことが最重要事項です。現在、全ての顧客が注目するニーズとして、地球環境の保全や持続可能な地域づくりが挙げられます。こうした大きなテーマを自社でどう事業化するか、本講座を通じて学び、実践されては如何でしょうか。

但馬信用金庫 常務理事 宮藤健生さん

CONTENTS 講座・演習内容

通年受講にあたって「テーマ」(以下)を選択、それに合わせた講座・演習を行います。通年受講者は欠席回についてDVD視聴によるフォローを受けることができます。

第3期スクールのテーマ

小型木質バイオマス発電(コージェネ)事業化演習コース **優先** / 地域活性化につながる小水力発電事業化演習コース **優先** / 農村に親和性のある再生可能エネルギー導入デザイン事業化演習コース / まちなか油田(廃油活用)事業化演習コース

開講式 講座 「持続可能な地域づくりの基礎」 2017年10月5日 [木] 16時00分 @豊岡市役所第3会室
江崎 保男氏 兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 研究科長・教授

実践者による学びの講座 時間：土曜日 PM1:30-4:00 会場：豊岡市内 **受講生共済 講師発表参加可**

<p>2017年10月予定 日ほほろび文庫 Webでお知らせします。</p> <p>大久保 和孝氏 新日本有限責任監査法人 経営専務理事 (公認会計士) 慶應義塾大学の、政府や企業等の多数の依頼につくほか、長野県・糸魚川市・静岡市コトブキアインプロジェクト参加、地方自治体交流として大塚町、大野町、空知町、日南市・北海道夕張市・京都府京丹波市・宮城県気仙沼市・岩手県釜石市の参事、アドバイザー等、キリンビール 地域創生トレーニングセンタープロジェクト運営委員、大阪府農業大学校長を歴任済み。</p>	<p>2017年11月11日 [土]</p> <p>畑中 直樹氏 ひょうご持続可能地域づくり機構代表理事 (株) 地域計画推進研究所 大阪事務所副所長 部長 (サステナビリティマネジメント) / 博士(環境科学) 1964年生まれ。福岡市出身。大阪大学環境工学科卒業後、一貫して地域の地域課題・持続可能な地域づくりに取り組むもたらへ、(財)地球環境戦略研究機関(IIGES) 研究員、大学非常勤講師(環境経済、政策)、行政の審判委員等を務める。また、自然再生や再林・木材関係のNPO等の役員としても多数活動。</p>	<p>2017年11月25日 [土]</p> <p>原 亮弘氏 あひまエネルギーファンド株式会社代表取締役 / あひまエネルギーグループ株式会社代表取締役 1949年生まれ。兵庫県西宮市生まれ。メーカー系経理会社、食品メーカーでの勤務を経て(2001年)個人事業「アライアンス」を立ち上げ、その後、NPO法人職員の仕事を兼業。あひまエネルギーファンド株式会社、あひまエネルギー株式会社、長野県野田町において地元ファンド・並進によるエネルギーの「創出」の事業を営む。また、田舎田舎エネルギー大学を創設し、起業家育成にも取り組む。</p>
<p>2017年12月16日 [土]</p> <p>鷺見 健二氏 公益財団法人ひょうご環境創造協会 常務理事 環境増進推進事業本部長 1964年生まれ。大阪府立大学大学院修了(修士)。兵庫県入舟、大気汚染、環境政策委員、兵庫県環境センター長を経て、2014年から環境、環境影響評価 条例を策定、県内の大規模開発事業等に環境アセスメントを多数実施。</p>	<p>2018年2月3日 [土]</p> <p>滋澤 寿一氏 農学博士「炭素事務所」代表 (滋澤寿一啓略) 1952年生まれ。【聞き書き甲子園】【豊後なつめ】【石橋のつとめ】などを主催し、環境に目覚める若者の育成を進めながら、多様な社会を目指す。岡山県真庭市には20代から10代「真庭市主」の実現に携わり、「あひまエネルギー」株式会社代表取締役を務める。ほか、【公財】京都府環境政策推進委員会、株式会社 PLUS SOCIAL 代表取締役</p>	<p>2018年2月24日 [土]</p> <p>深尾 昌博氏 プラスソーシャルインベストメント代表取締役 役員 兼 総合大学政策推進部 准教授ほか 地域の持続性を高めるための資金調達に力を入れ出すのをサポートしています。寄付や社会的投資を日本の地域社会が活用し、魅力ある地域づくりを推進するためのインフラづくりに取り組んでいます。ほか、【公財】京都府環境政策推進委員会、株式会社 PLUS SOCIAL 代表取締役</p>

※プログラムは変更する場合があります (その他にもテーマや演習内容に応じた講座を予定)

学びを実践につなげる **テーマ別事業組み立て演習** 時間：概ね隔週土曜日 PM6:30-8:30 会場：但馬地域ほか現地
【メンター紹介】 **法人受講者・通年受講者対象**

<p>小水力</p> <p>竹尾 敏三氏 岡山県小水力推進協議会理事 / アサンテ環境研究所代表 20kWから700kWまでの水力発電の計画や設計だけでなく、各地域の数十-Wから数kWまでの地元の方が自分たちで水車発電場を設置し運用する支援も行っています。地元資源を活かして自分たちのエネルギーを作ってみませんか?水車発電場の設置計画についての知識を、自分たちで計画できるような支援します。</p>	<p>木質バイオマス</p> <p>谷淵 庸次氏 NPO法人木質バイオマス推進センター 専務理事、岡山バイオマス推進協議会 事務局長、岡山バイオマス推進協議会 事務局長、岡山バイオマス推進協議会 事務局長、岡山バイオマス推進協議会 事務局長、岡山バイオマス推進協議会 事務局長</p>
<p>事業づくり</p> <p>戸田 幸典氏 ひょうご持続可能地域づくり機構専務理事 (財)地域計画推進研究所 代表理事 1980年生まれ。主に京都でのNPOやソーシャルビジネス 支援、社会福祉づくりや地域貢献型メガソーラー事業の立ち上げの経験から、住民の力を引き出すまちづくり、地域の多様な主体が協働して行う地域課題解決の事業づくりに取り組んでいます。</p>	<p>山林・林業</p> <p>龍口 秀一氏 有限会社「ふたば」代表取締役 兼 コーポレート NPO 環境ボランティア 統括 専務理事 兵庫県立大学 環境政策推進部 NPO 法人 丹波川町 代表理事 1994年丹波市へ移住。2004年に森林資源の活用コーディネートと建築設計を主業務とした有限会社「ふたば」を設立。2015年から地域コミュニティと共に新の地域内循環による森林保全と地域づくりを実践中。</p>